

ウイズコロナ時代を迎え、屋外スポーツであるテニスは比較的安全と言われているが、安全には十分気を遣って大会は札幌市平岸庭球場にて、2022年9月11日開催された。参加したのは、北海道各地から駆け付けた10組20名である。大会直前には1組2名がコロナウイルス濃厚接触者に認定されたため、残念ながら欠席した。

大会は午前10時より、集合写真撮影と自己紹介の後始まった。Aブロックは、試合巧者の花谷・海老原組が見事に2勝0敗で優勝を飾った。競技歴の長い伊藤・土田組が1勝1敗で準優勝、いずれも5-6、4-6と接戦を落とした服部・三浦組は全敗であった。服部・三浦組は10月山口県で開催される全国医師テニス大会80歳超クラスに出場予定で、健闘を期待したい。Bブロックは、4組が出場し激戦を繰り広げた。学生時代北大同期で、この数年ペアを組んできた武市・宮崎組がとうとう3戦全勝で優勝を飾った。準優勝の八木・蒔田組に4-5とリード

されながら逆転勝利した粘り強さは立派であった。13年ぶりに北海道に戻ってきた蒔田先生は初出場ながら健闘し、八木・蒔田組は各接戦を制し2勝1敗で準優勝だった。全国大会に出場する予定の深谷・松本組は初のペアリングのためかまだ攻守の息が合わず、惜しくも1勝2敗で1位だった。全国大会では、調整し良い成績を収めて欲しい。Cブロックは家族ペアの3組が和気あいあい対戦した。この中では一步抜きんでた谷口夫妻組が2戦全勝で優勝した。今年初出場の廣瀬夫妻組が1勝1敗で準優勝、三品父娘組は残念ながら全敗で1位に終わった。

コロナの第7波が収束していない今年も、3年連続試合後の懇親会は見送られたのは残念であった。表彰式の後には現地解散したが、同じ趣味の仲間同士、また来年の再会を約束して別れた。

文責 北海道医師テニス協会会長

八木整形外科病院 理事長・院長 八木 知徳やぎ ともりのり

令和4年9月11日 2022年度 北海道医師硬式テニス大会 参加者 五十音順

医師名	医療機関名
伊藤 正美	中央医院 (岩見沢市)
海老原琢磨	海老原医院 (岩見沢市)
武市 紀人	しのろ耳鼻咽喉科クリニック (札幌市)
武田 修	たけだ皮膚科スキンケアクリニック (札幌市)
谷口 晋也	宮の森記念病院 (札幌市)
谷口 裕子	
土田 健一	萬田記念病院 (札幌市)
西田竜太郎	栄町レディースクリニック (札幌市)
服部 昌男	美瑛町老人保健施設「ほの香」(美瑛町)
花谷 馨	札幌商工会議所 (札幌市)
廣瀬 憲一	新川新道整形外科病院 (札幌市)
廣瀬亜津子	
深谷 徹	ふかや皮膚科クリニック (札幌市)
蒔田 直昌	札幌禎心会病院 (札幌市)
松本 光博	松本皮フ科クリニック (岩見沢市)
三浦 悟	三浦外科肛門科 (小樽市)
三品 壽雄	北海道大野記念病院 (札幌市)
三品あおい	
宮崎 広亀	内科・胃腸科平岸台クリニック (札幌市)
八木 知徳	八木整形外科病院 (札幌市)

試合結果

Aブロック

		1	2	3	勝敗	順位
1	伊藤 土田		2-6	⑥-4	1-1	準優勝
2	花谷 海老原	⑥-2		⑥-5	2-0	優勝
3	服部 三浦	5-6	4-6		0-2	1位

Bブロック

		1	2	3	4	勝敗	順位
1	深谷 松本		3-6	⑥-1	5-6	1-2	1位
2	武市 宮崎	⑥-3		⑥-2	⑥-5	3-0	優勝
3	西田 武田	1-6	2-6		4-6	0-3	2位
4	八木 蒔田	⑥-5	5-6	⑥-4		2-1	準優勝

Cブロック

		1	2	3	勝敗	順位
1	谷口		⑥-0	⑥-1	2-0	優勝
2	三品	0-6		0-6	0-2	1位
3	廣瀬	1-6	⑥-0		1-1	準優勝